

(令和2年7月10日発表)

生誕125年記念展

# 芹沢銈介 模様をめぐる88年の旅

◆ アピールポイント	型染を主軸に「模様」に真摯に向き合いながら仕事をつづけた芹沢の生涯を、初期から晩年まで200点の代表作を通じて綴ります。
◆ 日時・期間	2020年7月21日(火)～11月23日(月祝) (開館時間 9:00～16:30)
◆ 場 所	静岡市立芹沢銈介美術館 (静岡市駿河区登呂五丁目 10-5)
◆ 内容など	<p>もともと画家を目指していた芹沢銈介。20代にはデザイナーとして活躍し、32歳の時に柳宗悦に出会い、染色作家としてデビューします。そのキーワードは「模様」。「模様は美の結晶である」という柳の考えを受けて、芹沢は模様を集め、模様を散らしながら、人生を歩んでいきました。</p> <p>本展では、初期から晩年まで200点の代表作を通じて、芹沢の88年の模様をめぐる人生の旅をご覧ください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>「山並文帯地」(1954年)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「竹に小梅文帯地」(1955年)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p style="writing-mode: vertical-rl;">鯛泳ぐ文着物 (1964年)</p> </div> </div>
◆ 観 覧 料	一般 420円 / 高・大生 260円 / 小・中 100円 / 未就学児無料 ※静岡市内に在住または静岡市内小・中学校に在学中の小・中学生は無料。 ※市内在住の70歳以上の方、障がい者手帳等の交付を受けている方とその介助者1名は無料。

別紙資料 (有) ・ 無

ぜひ取材をお願いします。

**【問合せ】** 静岡市立芹沢銈介美術館  
 電話 054-282-5522